

大問	中間	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
1 5 点	(1)		①	技能			7.15	5
	(2)		②	技能			13あまり1	5
	(3)		③	技能			91608	5
1 5 点	(1)		④	知識			$4 \times 21 + 1$ ($21 \times 4 + 1$)	5
	(2)		⑤	知識			18600000000 (18億6千万)	5
	(3)		⑥	知識			1000000000 (1億) (が2つある)	5
1 0 点	(1)		⑦	技能			1580	5
	(2)		⑧	技能			○繰り下がりを正しく計算している。 (筆算) (例) $\begin{array}{r} 2 \\ -1.58 \\ \hline 0.42 \end{array}, \quad \left(\begin{array}{r} 2.00 \\ -1.58 \\ \hline 0.42 \end{array} \right)$ 道のりは, 0.42 km	5
1 5 点	(1)		⑨	知識			60 度	5
	(2)		⑩	技能			およそ 120 度	5
	(3)		⑪	考え	○求め方は書いてないが, 10時25分だけ書いている。 ----- ○答えの時刻までは求めることができていないが, 1分間または5分間に回転する角度は言葉や式で求めている。 ----- ○求め方は正しいが, 計算間違いをして正しい答えになっていない。	2 2 3	午前10時25分 【求めかた】 ○1分間または5分間に回転する角度に着目し, 150°進む時間を求める式や言葉を書いて正しく時刻を求めている。 (言葉と式: 例) 1分間に回転する角度を求めると $360 \div 60 = 6$ で6°なので, 150°では, $150 \div 6 = 25$ で25分進むから, 午前10時25分になる。	5
5 点			⑫	考え	○「3つの辺の長さが同じだから」とだけ書いている。	1		5
					○折り曲げた方か, 重ねて作った方かのどちらかは, 長さが同じになることを理由を付けて書いている。	3		
1 0 点	(1)		⑬	技能	○オと書いているが, コンパスで弧をかいていない。 ----- ○オと書いているが, コンパスの使い方が不正確で, 弧がオを通っていない (少しずれている)。	2 3	○コンパスで, アとイを中心にしたオを通る2つの弧をかいて, オと書いている。	5
	(2)		⑭	考え	○4 cm, 6 cm のいずれか1つが合っている。	2		
							○4 cm, 6 cm の両方書いている。	5

大問	中間	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
7 20点	(1)		⑮	技能	○ 1～2カ所間違っただ点をとって、折れ線グラフをかいている。	3	○ 全て縦軸の数値を適切にとり、折れ線グラフに表している。 <div style="text-align: center;"> <small>熊本市とブラジルのある都市の月べつの気温</small> </div>	5
	(2)		⑯	技能	○ 熊本市とブラジルのある都市の一方についてのみ書いている。 (例) ・ 熊本市で一番暑いのは8月。 ・ ブラジルは、1年を通して暖かい。 など	2	○ 熊本市とブラジルのある都市の両方について書いている。 ・ 熊本市は気温の変化が大きいですが、ブラジルはあまり変わらない。 ・ 熊本市は8月が一番気温が高いが、ブラジルは低い方である。 など	5
	(3)		⑰	考え	○ 「かなさんと棒グラフ」、もしくは「たろうさんと折れ線グラフ」の組み合わせで書いているが、わけが「分かりやすい」「比べやすい」とだけ書いているなど不十分である。 ○ 「かなさんと折れ線グラフ」、もしくは「たろうさんと棒グラフ」の組み合わせで書いているが、わけをグラフの特徴に基づいて書いているもの。	3 3	○ 下記のように正しく書いている。 (例) ・ 「かなさんと棒グラフ」と書き、わけを「棒グラフに表すとそれぞれの温度の違いが比べやすい。」と書いている。 ・ 「たろうさんと折れ線グラフ」と書き、わけを「折れ線グラフに表すと変わり方(温度の上がり方)のようすが分かりやすい。」と書いている。 など	5
	(4)		⑱	関心	○ 「変わり方を表す」とも考えられるが、表したいものを単語のみで書いている。 ・ 体重 ・ 身長 など	2	○ 「変わり方を表す」という視点で書いている。 (例) ・ 1年生から4年生までの自分の体重の変わり方 ・ ツルレイシのくきの伸び方 など	5
8 10点	(1)		⑲	考え	○ 式を読み取って、そのことをそのまま書いている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">12を4でわると [12÷4=3]</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">280円に3をかけると</div> など <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">[280×3=840]</div>	1 3	○ 12本が4本の何倍になっているかに着目し、12本分の値段を求める過程を的確に言葉で表現している。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">12本は4本の何倍かを考えると (12本の中に4本のえんぴつが何組あるか考えると [12÷4=3])</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">値段も4本分の3倍になるから</div> など <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">[280×3=840]</div>	5
	(2)		⑳	関心	○ 問題文は適切につくられているが、割り切れないために基準量が求められない問題にふみさんの考えを使おうとしたり、2数が整数倍の関係にないのにたかしさんの考えを使おうとしている。 (例) 3個で200円のゼリーがあります。12個ではいくらでしょうか。 〈ふみさんの考えを使う〉 200÷3=66あまり2 66×12=792 答え792円 など ○ 問題文、考え方はともに適切であるが、計算間違いをしている。	2 3	○ 2数の倍関係や基準量に着目して、問題づくりができており、正しい求め方ができている。 2本で190円のおだんごがあります。6本ではいくらですか。 〈ふみさんの考えを使う〉 190÷2=95 95×6=570 答え 570円 〈たかしさんの考えを使う〉 6÷2=3 190×3=570 答え 570円 など	5
【授業改善の視点】 考えた式だけをまず黒板に書かせ、その式から考え方を読み取らせるなど、式の意味について考える活動を工夫する。								